

ごごしま
音楽

プール



出演
高野寛
奇妙礼太郎
アンチモン
ごごしま太鼓クラブ奏

リアル開催だよ！全員集合！

12:00-15:30 (開場 10:30)

しまのテーブルごごしま (旧泊小学校) 内
屋外プールにて

愛媛県松山市泊町 618-10

雨天決行 (雨天時は体育館にて開催)

6.4
SUN
2023

入場料 | 一般前売 3,500円 (当日 4,000円) 中高生前売 1,500円 (当日 2,000円)

※プール内ライブスペース入場料 ※小学生以下・島民の方は無料

チケット販売 | オフィシャルサイト www.55pool.com

イープラス <https://eplus.jp> ごごしま音楽プールで検索

ライブポケット <https://t.livepocket.jp/e/55pool2023> ほか協力店舗にて販売

後援 | 松山市 愛媛新聞社 南海放送 テレビ愛媛 あいテレビ 愛媛朝日テレビ FM愛媛



プールでライブ、いかがですか。

4年ぶりに帰ってきたよ!

松山市から約10分の航路で着く、興居島へ。

廃校になった小学校にある、ちいさなプールをアコースティックの優しい音楽で満たします。空っぽのプールの中に、みかん箱と楽器を持ち寄れば素敵なステージの、はじめは始まり。しまの風と、空気と、集まるひとたちでつくる音楽会。船に乗った瞬間からはじまる、素敵な音楽の旅。日常をちょっと忘れて、笑顔になれる一日を、ご一緒に。



なんと！
ここがステージに！



松山市内からの交通機関

伊予鉄道高浜線の高浜駅下車
(松山市駅から約20分)

高浜港から泊港ヘフェリー
(約10分)

フェリー時刻表

往路[高浜▷泊] 10:25 11:25 12:25 13:55

復路[泊▷高浜] 13:35 15:00 16:10 17:20

※一部抜粋(2023年3月現在)
詳しくは「株式会社ごごしま」時刻表でご確認ください。



同時開催 ちいさなマルシェ

ごごしまの味、愛媛の美味しいものがあつまる、ちいさなマルシェを開催。音楽といっしょに、おたのしみください。

※マルシェのみの来場も可能です。※画像はイメージです。出展リストは公式HPをご確認ください。



新型コロナウイルス感染症対策として、ご来場のみなさまに手指消毒をお願いします。飲食はグラウンドまたは体育館内指定エリアをご利用ください。有料プールエリア内では飲食物の持ち込みは水分補給のペットボトル等とし、食事をしながらのご観覧はご遠慮ください。みなさまのご協力よろしくお願いたします。

ARTISTS



高野寛 / ミュージシャン

1964年生まれ。1988年、高橋幸宏プロデュースによるアルバム「hullo hulloa」でソロデビュー。ほとんどの楽曲の作詞・作曲・編曲・ギター・プログラミングを自ら手掛けるスタイルで、2019年までにベスト盤を含む22枚のソロアルバムをCDで発表。ソロ作品の他、世代やジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションも多数制作。ギタリストとしても YMO、高橋幸宏、細野晴臣、TEI TOWA、豊野源をはじめとした数多くのアーティストのライブや録音に参加し、坂本龍一や宮沢和史のツアーメンバーとして延べ20カ国での演奏経験を持つ。サウンドプロデューサーとしては小泉今日子、THE BOOM、森山直太郎、GRAPEVINE、のんなどの作品を手がけている。

<http://haas.jp>



奇妙礼太郎 / ミュージシャン

大阪府出身。奇妙礼太郎トラベルズイング楽団、天才バンド等のバンドを経て、現在はソロアーティストとして活動。2017年ソロメジャーデビュー。2022年4月、約4年ぶりのフルアルバム「たまらない予感」をリリースし、「FUJI ROCK FESTIVAL '22」等の国内フェスを含め、年間150本以上のライブに出演。ボーカリストとして多数のCM歌唱も担当するほか、写真展も開催するなど活動は多岐にわたる。

<https://kimyoreitaro.com>



アンチモン / ミュージシャン

Vo. 赤松隆一郎、Gt. 井上央一、リーダー カンガルーからなる音楽ユニット。日本語にこだわった歌づくりをモットーとする。赤松は「グリーンダカラちゃんのうた」「やさしいマンのうた」「疲れたら愛媛」などのCMソングやNHK「みんなのうた」への楽曲提供も行っており、井上は他バンドのサポート、スタジオミュージシャンとしても活動している。リーダーのカンガルーに関しては担当楽器など不明。謎が多い。今年で結成10周年を迎え、現在3rdアルバム制作中。

<http://www.antimony-music.jp>

OPENING ACT

ごごしま太鼓クラブ奏

興居島で「太鼓を打ちたい！」気持ちにあふれた者が集った和太鼓チーム。島に古くから受け継がれている「船乗り」のリズムを原曲とし、かつて瀬戸内海で活躍した水軍の戦いを和太鼓で表現した「伊豫之國松山水軍太鼓」の曲を中心に演奏の幅を広げている。